

# The Top Shelf

## Gaidai Library News

第3号

らいぶちゃん

### 特集 Life-Changing Books

## 私の学問観・世界観を変えた本

George Lakoff and Mark Johnson : *Metaphors We Live By*  
(University of Chicago Press, 1980)

～ジョージ・レイコフ／マーク・ジョンソン著『レトリックと人生』～

日常言語は、恒常的で安定した伝達を可能としていますが、その反面、私達を常識的な現実世界に安住させてしまいます。日常的な感覚を越えた新たな世界を創造していくためには、言葉の慣習を越える修辞学の視点(すなわち、言葉の綾の研究に関わるレトリックの視点)が重要な役割を担います。レトリックは、現実世界を新たな視点から捉え直し、創造的な世界を構築していくための重要な認識の手段であり、科学の世界、学問の世界における知の探究の手段としても重要な意味を持つと言えます。また、人間の思考活動、認知活動の巧妙さと複雑さを理解していくためにも、レトリックの問題は無視できません。Lakoff and Johnson の古典的名著(*Metaphors We Live By*)は、人間の創造的な知のメカニズムの中核をなすレトリックの世界へ私達を導いてくれる一冊です。言葉の修辞的な世界の素晴らしさ、人間の想像力の豊かさ、知の探究の楽しさを、この一冊から心ゆくまで学んでいくことができます。是非、一読をお薦めします。

外国語学部教授 山梨正明



らりーくん

「一期一会」という言葉があります。一人一人との出会いが、かけがえないものであるという意味です。私たちは読書を通じて、過去に生きた人々とも「出会う」ことができます。そして、素晴らしい本との出会いは、時に人生を変えてしまうほどのインパクトを持っています。本号の特集題は「人生を変えた本 (Life-Changing Books)」。ぜひ皆さんも、本を通じて「一期一会」の出会いを体験してください。



貴重書庫から

# サルグレン・コレクション (Sahlgren Collection)



Gustav Fredrik Jöran Sahlgren  
(1884-1971)

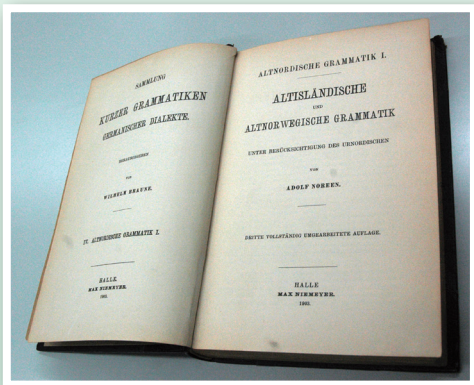
スウェーデンの言語学者。1912年にウプサラ大学で博士号を取得した後、ウプサラ大学、ルンド大学で教鞭をとる。1913年、スウェーデン地名資料施設を設立し、雑誌 *Namn och bygd* (名称と集落) を編集・発行した。また、中部スウェーデン地名学会設立(1925)やウプサラ地名学会設立(1937)などに尽力し、地名学という新たな学問分野を築いた。

サルグレン・コレクションは、スウェーデンの著名な言語学者グスタフ・フレデリック・ヨーラン・サルグレン博士(1884-1971)の蔵書約2,800点からなります。内容は北欧の諸言語、ゲルマン民族の歴史、アイスランドを中心とする文学、地名学、民俗学などの幅広い分野にわたっています。

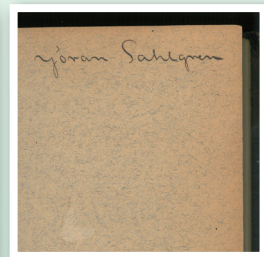
1975年に「私立大学研究設備整備費等補助金」によって購入し、「日本の大学所蔵特殊文庫データベース」にも登録されている本学の誇る貴重なコレクションの1つです。なお、1993年に本学は『サルグレン・コレクション目録』(B5版、132ページ)を刊行しています。

現在、図書館1階では、本コレクションの中から、Adolf Noreen著 *Altisländische und altnorwegische Grammatik: unter Berücksichtigung des Urnordischen* (Halle: Niemeyer, 1884)を展示しています。

この本は、ドイツ語で書かれた古アイスランド語と古ノルウェー語の文法書です。表紙を開けると、美しい蔵書票(*EX LIBRIS*)とサルグレン自身の署名が目に入ります。蔵書票とは、15世紀、書物が今より遥かに高価だった時代に、所蔵者の名前とともに様々な絵や図案を入れて本の見返しに貼った美術紙片のことで、「紙の宝石」とも称されています。赤い花で彩られた美しい蔵書票に、サルグレンの愛書家としての一面を偲ぶことができます。



蔵書票 (*EX LIBRIS*)



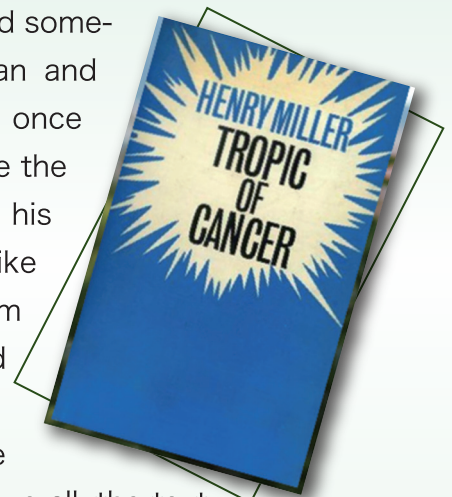
サルグレンの署名

## Prof. John Marland and *The Tropic of Cancer*

“I have no money, no resources, no hopes.  
I am the happiest man alive.” Henry Miller



The words he read stretched across a chasm to meet him. From an American bohemian living in Paris, France in the 1920s to an American square living in Daegu, South Korea in the 1990s. From a liberal, anti-theist, non-conformist to a conservative, orthodox, bourgeois who followed whatever rules he was given. The messy prose of Henry Miller's *The Tropic of Cancer* had somehow contaminated John Marland's clean and orderly world. The legendary book, once declared obscene and banned in the U.S., would both moderate the English teacher's worldviews and serve as a potent muse for his own newly stimulated writing endeavors. Inspired by quotes like the one above, Prof. Marland explains that the novel forced him to reevaluate his own vision of success, which up until then had always been centered on wealth and the respect of others. Miller's potent tome champions artistic triumph, even as the author languished in hunger, homelessness, and obscurity. Above all, the text demonstrated to an impressionable mind the power of the pen and the life-changing potential of books.



外国語学部講師 J. D. Marland

## 教員書籍紹介コーナー



今年度から図書館2階に「教員書籍紹介コーナー」が設けられました。展示されているのは、池田亮、井尻直志、市原麻衣子、上地明彦、魚住真司、梶田純子、菊池繁夫、澤田治美、鈴木誠一、Di Martino, Luigi Alberto、丹羽隆昭、橋本功、林美智代、堀江康熙、町田哲司、森川長俊、山梨正明、渡千鶴子（五十音順、敬称略）の各先生の著作です。授業を受けた先生がどんな研究をされているのか、ぜひ手にとってご覧ください。



## 「かんらぶ」の企画展示



図書館で活動する6名の学生ボランティアグループ「かんらぶ」によるオススメ本紹介コーナーができました。返本作業中に目にとまった本、興味を持った本を自由に選び、個性あふれるポップを作成して展示しています。初日は12点展示し、数時間後には9点が貸し出されていたという大人気のコーナーです。スタッフの異なる感性で選ばれた本は、洋書、小説、外国関係などジャンルも多岐に渡っています。デザイン性に優れたプロ並みのポップの威力で、「貸出中」が頻出。『若者の気分—学校の「空気」』『おじさん図鑑』など24点31冊を取り揃えています。ポップを見るだけでも楽しいですが、同世代の薦める本について手を伸ばしたくなります。

## 語学検定の問題集がライティングセンターに移動しました

TOEIC・TOEFL・英検をはじめとする語学学習の問題集が、図書館2階のAVルームからICCのライティングセンターへ移動しました。英語関係では、TOEIC、TOEFL、国連英検、IELTS、日商ビジネス英語検定、観光英語検定の問題集が揃っています。その他の言語では、中国語検定(1級～4級)、スペイン語検定(DELE)、仏検などの問題集があります。なお、付属のCDを聞きたい場合は、CDラジカセも自由に使うことができます。資格取得や留学を目指す人は、ぜひ利用してください。

配置場所:ICC  
(6号館1階 7iステーション)  
開室日時:月～金 9:00～17:00  
※土曜日、春・夏休みは閉室のため  
利用できません。  
※室内利用のみで、貸し出しはできません。

## 学生向けノートパソコンの貸し出しについて Concerning Loans of Laptop Computers to Students

図書館では6月から自己学習、グループ学習用にノートパソコンの貸し出しを始めました。利用は図書館内に限られ、「コンピュータ等利用資格認定テスト」を受験、合格している必要があります。貸出を希望する人は「パソコン個人利用申込書」に記入の上、図書館1階カウンターで申し込んでください。

In order to support individual and group learning in the library, a program to loan students laptop computers has begun from June. Use of the computers is restricted to the library, and students should have passed the "Computer Use Qualifying Test". Those interested in borrowing a machine should fill out an "Application Form for the Personal Use of a Computer" at the main counter on the first floor of the library.

### 〈編集後記〉

*The Top Shelf* 第3号では、書籍を通して他者の多様な見方や考え方に触れ、自らの感性を再構成するチャンスになることを期待して特集題を組みました。秋の夜長に、ちょっと気になる書籍を手にとってみてはいかがでしょうか。発行にあたり執筆・編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。次号は4月発行予定です。どうぞお楽しみに!

図書館学術情報センター運営委員会

\*利用案内は図書館学術情報センターのホームページの開館カレンダー及び利用ガイドをご覧ください。

*The Top Shelf* 第3号  
2015年10月発行

関西外国語大学図書館学術情報センター  
〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16番1号  
TEL (072)805-2805(代)  
<http://library.kansai-gaidai.ac.jp/>